

次世代育成支援対策行動計画の実施状況について

1. 評価の方法

後期計画の施策評価にあたっては、事業を主体的に実施する課が、目標の達成度の状況を「事業評価シート」を用いて行いました。

評価ランクは、「A＝計画どおり進捗した」、「B＝目標に近く、概ね進捗した」、「C＝目標には届かないが、進捗している」、「D＝停滞・事業の未実施」、「E＝終了」の5分類としました。

この評価基準に基づき行った平成26年度の評価結果は、下の表のとおりです。

基本目標	基本施策	事業数	評価ランク				
			A	B	C	D	E
1 子どもを社会で育てる意識づくり	(1)地域社会における子育て支援サービスの充実	16	10	4	0	1	1
	(2)保育サービスの充実	7	5	0	1	1	0
	(3)児童の健全育成	1	1	0	0	0	0
	(4)幼保一元化の検討	1	0	0	1	0	0
	計	25	16	4	2	2	1
2 援護が必要な家庭への支援	(1)児童虐待防止対策	3	0	3	0	0	0
	(2)ひとり親家庭等の自立支援の推進	3	1	2	0	0	0
	(3)支援児施策の充実	4	3	1	0	0	0
	計	10	4	6	0	0	0
3 母子保健事業の充実	(1)子どもや母親の健康の確保	6	6	0	0	0	0
	(2)思春期保健対策	1	1	0	0	0	0
	(3)小児医療等の充実	3	3	0	0	0	0
	(4)不妊治療対策	1	1	0	0	0	0
	計	11	11	0	0	0	0
4 仕事と家庭生活の両立の支援	(1)働き方の見直し	2	0	2	0	0	0
	(2)仕事と子育ての両立支援の推進	4	0	4	0	0	0
	計	6	0	6	0	0	0
5 教育環境の整備	(1)次代の親の育成	2	1	1	0	0	0
	(2)子どもの生きる力の育成に向けた学校	6	6	0	0	0	0
	(3)家庭や地域の教育力の向上	2	1	1	0	0	0
	(4)有害環境浄化対策の推進	1	0	1	0	0	0
	計	11	8	3	0	0	0
6 子育てにやさしい生活環境の整備	(1)安心して外出できる環境の整備	4	0	2	2	0	0
	(2)子どもたちの安全の確保	4	1	1	2	0	0
	計	8	1	3	4	0	0
合計		71	40	22	6	2	1
		100%	56.3%	31.0%	8.5%	2.8%	1.4%

2. 評価の総括

全71事業のうち、A評価が40事業、B評価が22事業、C評価が6事業、D評価が2事業、E評価が1事業となりました。A・B評価の事業は全体の87.3%を占め、8割以上が計画どおりないしは概ね計画どおりに進捗した結果となっています。一方、D評価の事業は全体の2.8%と低い割合にとどまり、全体としての進捗状況は良好であると評価できます。

子ども・子育て未来プランにおいては、後期計画の評価及び検証を基に、事業を一層充実させるとともに、市民のニーズを考慮しながら事業運営を図っていくことが求められます。